

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	団体営農業農村整備事業(農業基盤整備促進型)		所管課【2】	農地整備課
			評価者(担当者)	宇野 貴善
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)農林業の振興		
	施策区分	(3)農業基盤整備の推進		
(市民意識調査結果)		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域	<input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 農業基盤整備促進事業実施要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 1 目 14 細目 22			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	我が国の農業は、農業従事者の減少や高齢化、農業所得の減少等、大変厳しい状況にある。このような状況の中、食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって発揮されるためには、担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化の推進等により、競争力ある「攻めの農業」を展開し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えることが必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	農家
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の農地の整備、老朽施設の更新等の農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施し、生産効率の向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H24 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	①地域のニーズを踏まえた基盤整備による農業の競争力強化 事業種類(補助率:50%):農業用排水施設、暗渠排水、土層改良、区画整理、農作業道、農用地の保全 ②整備済農地の高度利用を迅速・安価に図るための簡易な整備 事業種類(定額助成):区画拡大10万円/10a(水路の管水路化を伴う場合20万円/10a)、暗渠排水(本暗渠管の間隔10m以下)15万円/10a ※ 工事概要 転倒堰更新 1箇所 暗渠排水 A=104.54ha
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 農業基盤整備促進事業(26線) ② 農業基盤整備促進事業 ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金	-	277,384	162,777	115,120	770,000
		起債					
		受益者負担			459		
		その他					
		一般財源	72,260	2,754		35,000	
	【16】 小計	349,644	165,990	115,120	805,000	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人件費	職員人工数	1.00	0.45	0.35	0.35	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
【17】 小計		5,424	2,592	2,016	2,016		
合計		355,068	168,582	117,136	807,016		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 農業基盤整備促進事業(26線)	暗渠排水管を整備する。	暗渠排水整備面積	ha		54.54	60.25	
② 農業基盤整備促進事業	転倒堰を自動化する。	転倒堰自動化箇所	箇所		1	0	
③	排水路を整備する。	排水路の整備延長	m	2,704	0	0	1,300
④	暗渠排水管を整備する。	暗渠排水整備面積	ha	95.46	50.00	17.13	470.00
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
1 排水路整備延長	排水路等の整備累計延長	m	2,750	2,750	3,000	1,300
2 暗渠排水等の整備面積	暗渠排水等の整備累計面積	ha	95.46	100.00	300.00	470.00
			95.46	104.54	77.38	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	湛水被害が継続し市民の生命、財産が脅かされる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	国の補助金、交付金の減額により予定通り工事を行うことが出来なかった為。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	農地や住宅等の湛水被害や農作物等の被害を防ぐ有効な事業であるが、担い手による農地集積が条件となり耕作意欲がある地区に対し事業を進めることで継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	農業用施設の老朽化が深刻であり、地元の要望に対し事業であるが、今度は、ソフト事業により農地集積・集約が条件となり、営農に対しての取り組みが必要である。	評価責任者 早上 正臣
------------------	---	----------------